

# 簡水13施設を中央一括管理

松江市  
水道局

松江市水道局はこのほ

ど、水道局庁舎内に「簡易水道管理システム」を導入した。パソコンなどの画面上で、市内9カ所の簡易水道13施設の運転状況（配水池水位、送水流量、残留塩素、ポンプの運転および故障など）を遠隔監視するもので、異常発生時の警報機能も備えられている。

松江市では昭和63年度から、テレメータを利用し、グラフィックパネルで監視する「簡易水道施設遠方監

視」が簡易水道事業の事務委任

平成15年7月から水道局



客野課長

を受けたことから、従来のテレメータを新規に取り替えて「簡易水道管理システム」に更新し、水道局庁舎内で一括監視することとした。工期は平成15年10月から平成16年3月までの6カ月間、監視装置9カ所や中央監視設備（水道局庁舎）とともに、配水池に残塩計13カ所や流量計24カ所などを設置した。

## 安定給水や効率化推進

### 維持管理費の削減も実現

設の異常が発生した場合、原因究明が容易にできる。また、計測値トレンドなどで、水運用の正確なデータも把握できるため、効率的な施設管理も可能となる。

さらに監視室の

広さも従来の約4分の1、維持管理費も従来の約2分の1で済んでいる。なお、携帯電話の画面で警報が確認できるなど24時間監視も可能で、安定給水の確保および維持管理の効率化を図っている。

松江市水道局が今回導入したシステムは、小松電機産業（本社・松江市）が開発した「マスネット水神」専用線+ISDN方式のインターネットを活用し、リ



パソコンで遠隔監視

今回の導入について、客野嘉夫・松江市水道局工務課長は「操作やデータ保管が簡単で、誰でも使用できる」とも、維持管理費の削減を図ることができ、大いに期待している。将来的には管網図なども盛り込んでいきたい」と話している。



携帯電話の画面で警報も確認可能

「簡易水道管

理システム」では、日報・月報・年報とともに、運転履歴や警報履歴など帳票データを保存されるため、施